

ASK ニュース

Vol.0159

2015年6月22日(月)

担当：MS事業部 北野

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

リバウンドしない片づけ術

はじめに

TIME誌「世界で最も影響力のある100人」に選ばれた近藤麻理恵さんの「人生がときめく片づけの魔法」についてお伝えしたいと思います。

逆転の発想

今まで私が、「片づけ」でイメージするのは、「収納グッズ」や「いらないものを捨てる」という言葉でした。

近藤さんが、提唱するのは、捨てる物を探すのではなくどんなものに囲まれて生きたいのかという逆転の発想です。具体的には、同じカテゴリの物をすべて床に出してその中から『ときめくモノ』だけを取り出し、それ以外はすべて捨てるという方法です。「必要か、必要じゃないか」で選ぶと大半は、必要という結果になり、代わり映えしません。

片付けの順番

片付けには、順番があり、まず、「ときめくモノを選んで、残りを捨てる」作業を終わらせてから、「収納場所を決める」の順番で行わないと片付けた3日後には、以前と同じ状況にリバウンドしてしまいます。収納上手な人ほど、 unnecessaryなモノを抱え込んでしまいます。

また、「捨てる」作業にも順番があります。はじめに衣類、次に本類、書類、小物類、そして、最後に思い出の品。残すか捨てるかの判断がしや

すく、カテゴリーがはっきりしているものから整理した方がスムーズだからです。

リバウンドしないためには

「一度片付けたら、絶対に元に戻らない方法」でリバウンド率ゼロとうたわれております。

これは、「捨てる」作業が終わり、モノが減った後に家にあるあらゆるモノの定位置を決めることで実現します。ポイントは、一つ残らず定位置を決める事です。一つでも住所不定のモノがあると散らかる可能性が一気に高くなるからです。

家族で住んでいる人は、各人に個人的なモノを収納するコーナーを作り、すべてその場所に集約する事が部屋をきれいな状態に保つ秘訣です。

おわりに

昔から親に言われており、また、私も子どもたちに言っている「出したモノを元の場所に戻せば、部屋が散らからない」というのは、やはり片付けの基本だと改めて解りました。

ただ、私の場合、その前の作業、モノの取捨選択や定位置の決まっていないモノがあるので、片付いている部屋をキープするのが難しかったことに気づかされました。

まずは、ときめくモノを選ぶところから始めたいと思います。